

国際シンポジウム

アジアにおける後期中等教育拡大とその未来の比較研究

Expansion and Future of Upper Secondary Education: Comparative Analyses Across Asia

日本の後期中等教育（高校教育）は、戦後の最初の30年間において急速に拡大し、進学率95%以上の準義務化状態にまで至りました。その後、1990年代以降、急激な少子化に対応することが迫られるようになってきています。生徒減少期への対応は、拡大期の対応とは違う形で困難を伴うものであり、日本国内でも高校の統廃合に伴うひずみがさまざまな形で報告されています。今回、多国間比較研究として、東アジア、東南アジアを対象とする研究者たちの最新の研究成果を報告しあうことにより、後期中等教育の量的拡大過程と人口減少期における量的縮小過程の両者についての問題点と可能性を共有しあいたいと考えております。

今回のシンポジウムでは、第1セッションにて、対象国の比較分析および現在、拡大途上の国の分析を紹介し、第2セッションでは、日本同様に準義務化を達成した国と地域について、後期中等教育機会の提供についての問題点を提示しあいます。それらを踏まえて、総括討論では、後発産業化諸国から見えてくる後期中等教育段階の教育機会の研究の可能性について議論しあいます。

アジアの多くの国と地域において、経済発展を担う中間層の創出に寄与すると捉えられている高校段階の教育機会の提供のされ方を最新の報告を聞き合うことにより、日本およびアジア諸国の経験の何が世界に応用できるのかを構想する機会にしたいと考えております。このような時間的にも空間的にも広い視野を持った議論を、日本の製造業が集積する東海地方から行っていきたいと考えております。どうぞ皆様ふるってご参加くださいませ。

記

1. 開催日 平成27年5月30日（土）13:00～18:30
2. 会場 中京大学名古屋キャンパスヤマテホール（名古屋市昭和区）
3. 概要（発表演語：英語、同時通訳なし）
 - ① 報告者（アルファベット順）：
CHEUNG, Yuk Man (Lecturer, Hong Kong Chinese University)
伊藤未帆（神田外国語大学外国語学部アジア言語学科講師）
JIANG, Jin (Research Associate, Hong Kong Institute of Education)
香川めい（東京大学社会科学研究所特任助教）
劉語霏（台湾，中國文化大学教員養成センター助理教授）
シムチュンキャット（昭和女子大学人間社会学部准教授）
多喜弘文（法政大学社会学部専任講師）
 - ② 討論者
藤田英典（共栄大学教育学部長，東京大学名誉教授，元名古屋大学助教授，日本教育学会会長）
Jeremy Rappleye（京都大学白眉プロジェクト特任准教授）
4. 参加費 無料（予約推奨）
5. 申込 中京大学現代社会学部 堀兼大朗（ほり けんたろう）
e-mail: c11401@cnc.chukyo-u.ac.jp URL: <http://nc.chukyo-u.ac.jp/gendaisyakai/kakenhi/>
6. 主催 「後発産業化諸国の中等教育拡大の国際比較研究」プロジェクト（代表：相澤真一 中京大学）
7. 共催 中京大学現代社会学部／中京大学大学院社会学研究科
8. 後援 日本教育社会学会